



東陽中だより

第5号

令和8年9月2日

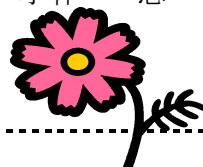
江東区立東陽中学校

校長 小林 一志

《本校の教育目標》

- 1 よく考えすすんで学ぶ生徒
- 1 ねばり強く努力する生徒

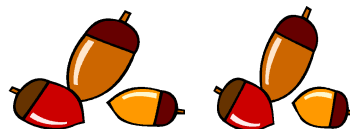
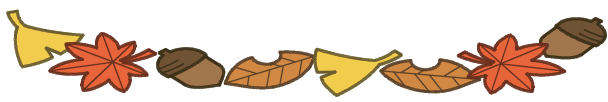
- 1 思いやりがあり協力する生徒
- 1 健康で明るい生徒



校長 小林 一志

例年より6日間長い夏休みが終わりました。良い思い出がたくさんできた事と思います。その思い出を励みに気持ちを切り替えて、今学期も元気に様々な活動に取り組んでいきましょう。

さて、この夏は、熊本地震、千葉の豪雨災害、北陸や栃木・群馬など各地で線状降水帯や大雨による浸水害、土砂崩れ等々、ネパールでは氷河が崩れたことによる土石流と多くの人たちが命を失ってしまいました。また、これらの地域では今も行方不明者の搜索活動や多くの人が避難生活を余儀なくされています。謹んで哀悼の意を表するとともに、心よりお見舞いを申し上げます。この夏改めて自然界の恐ろしさを知るとともに、何故このような災害が起きるのか？自分たちは、本当に災害に対しての備えはできているのかを考えさせられた夏だったと思います。そして、私たちにできることは何でしょうか…みんなで真剣に考えないと…



★全校集会 校長講話

45日間の夏休みが終わりました。まずは、こうやって皆さんの元気な顔を見られたことを嬉しく思います。学校にも、大きな事件・事故に巻き込まれた等の連絡も入っていないのでホッとしています。何かまだ言えずに困っていることがあったら、先生たちに話してくださいね。悩みを残さず、気持ちよく前期後半を迎えてほしいと思います。

さて、どんな夏休みでしたか？例年とは違い今年から6日間増えた夏休みでしたが充実させることはできましたでしょうか？自分自身で夏休みを振り返ってみてください。**振り返りがあるからこそ、一歩前に進むことができます。**そして、今日からしっかりと気持ちを切り替えて、大いに学校生活を楽しみましょう！

さて、東京の8月の猛暑日（35度を超えた日）は3日と昨年の25日に比べたいへん少なく、私たちは、過ごしやすかったのかもしれませんが、しかし、この夏、様々な地域や国で地震や豪雨、土石流等の災害で多くの人たちが命を落としてしまったり、避難生活を余儀なくされています。改めて自然の猛威を知った夏もあり、自分の身に起きたらどうなるんだ？と考えた人も多かったと思います。今日は「防災の日」。総合防災訓練もあります。東京にも必ずや起こると言われている大地震に備え、身も心も真剣に真剣にみんなで取り組んでいきましょう。

最後に、一つ嬉しくて感動したお話をさせてください。多くの地域で夏祭りが開かれたと思いますが、地域の方々からこんな話がありました。「東陽中の生徒さんたちがみんなあいさつをしてくれるんだよ。うれしかったなあ。今までそんなことなかったから…素敵な生徒さんたちですね」とお褒めの言葉をいただきました。私自身も涙が出るくらいうれしかったです。みんな、ありがとう！

あいさつ日本一の学校を目指しましょう！あいさつは人の心を動かすことができる。あいさつは人を変えることができる。今学期もみんなで頑張りましょう。

★教訓！（火災現場にて）

私自身が体験した、火災における煙の怖さについてお話をします。今から15年くらい前でしたが、担任をしていて、その日はたまたま修学旅行の振替休日。修学旅行中はなかなか眠れなかったので、その日は家で朝の9時頃まで寝ていました。すると、なにやら煙りのにおいが…外で誰かが叫んでいる声がして、飛び起きて玄関を出ると、同じマンションの3部屋向こうの玄関から、ものすごい白い煙が出ていました。マンションの管理人さんが「火事です！」と館内放送で叫んでいます。そこで、Tシャツとジャージとサンダル履きの姿で、消火栓を開けホースを持って果敢（今、冷静に考えると本当に無謀な行為でした）に火事の中に入っていました。「誰かいますか？」と大声で叫ぶと「住民の方は外に出ました！」と一緒にいった管理人さんからの声。最初は必死に放水をしながら立っていたのですが、煙の勢いがすごく立っていただけでありませんでした。そこで、腹ばいになりながら放水をしていると火柱を発見！そこにめがけて放水を続けました。しかし、一分後ぐらいでしょうか「このままここにいたら死んでしまうな」と自分で思ったのをはつきりと覚えています。意識がもうろうとしてきたその時、私の身体に後ろから水をかけてくれたマンションの住人さんがいました。この水が私を助けてくれました。「消防署が来たぞ！」と言って這いずってその火が上がっているマンションの玄関を出ました。直ぐに女性の消防士さんが私の元に来てくれて、「お怪我はありませんか？」と「すみませんが、鼻の穴を見せてください！」と。「はあ？」と思いました。「鼻毛が全て焼けています。呼吸器官が火傷している恐れがあり、直ぐに病院に



搬送します！」とのこと。「嘘だろ！元気ですよ」と言いましたが、髪の毛を触ると熱で縮れた髪の毛がボロボロとたくさん落ちてきました。また、顔全体が真っ赤になり火傷の状態でした。結局、総合病院の集中治療室で酸素マスクをして一晩中監視された中での入院生活をしました。熱風を吸い込み呼吸器官にもその熱風が入り、火傷のために呼吸器官が腫れ上がった場合は死に至るとのことでした。

私自身、人助けの思いが強く起こした行動でしたが、なんの準備もしないで火事の中に入っていった無謀さと避難訓練では体験していたはずの、煙と熱風の本当の恐ろしさの認識不足が、自分の命を落とす可能性があったこと等々、反省しなければならないことばかりでした。そして、どのようなことが起きても、慌てずに冷静沈着に行動、指示を出すことの大切さも学びました。

君たちは中学生です。大震災やあらゆる災害が起きたときは、まずは自分の身を守ることが最優先となります。しかし、その後は、中学生として様々な形で救助活動をお手伝いすることも多くなると思います。私の失敗談を思い出して、「冷静に！」「落ち着いて！」と、まずは深呼吸をして活動をしてください。

★防災訓練

9月1日の5, 6校時「防災訓練」が行われました。深川消防署の方々と地元消防団の方々にお越しいただき「緊急電話のかけ方」「AEDの使い方の実施訓練」「消火器の使い方」「煙体験」を体育館と校庭に分かれて実施しました。全生徒がそれぞれの体験をできるように、学年毎にローテーションして行いました。どの生徒も笑顔でチャレンジしていましたが、実施時は真剣な表情で取り組んでいました。最後に消防署の方から「まずは、自助・共助・公助の考え方を忘れないこと。そして、今日学んだことを災害現場で生かしてもらえれば多くの人たちを助けられるということも覚えておいてくださいね。」とのお話がありました。関わっていただいた深川消防署、地元消防団の皆様、貴重な体験とお話をありがとうございました。



★東陽中学生徒の活躍

☆吹奏楽部

第66回東京都中学生吹奏楽部コンクール A組 銀賞



☆野球部

江東区中学校野球部少年新人軟式野球大会江東区予選 第3位
第36回山田杯サバンナカップ大会 優勝



☆バドミントン部

第46回台東区バドミントン協会主催選手権大会
ジュニアD2の部
第1位 竹下 陽菜・渡辺 ゆい 組
第2位 遠藤 美葵・松田 悠花 組
第3位 小海ひかり・細川シアラ 組



☆硬式野球

第52回硬式野球全日本選手権大会 第3位 キャラハンケニー

☆女子軟式野球

第12回東京都女子中学軟式野球大会 準優勝 北原 未桜
第11回全日本中学女子軟式野球大会出場



☆陸上競技部

第79回東京都中学校陸上競技選手権大会（第65回東京都総合体育大会）
女子共通 砲丸投げ 第6位 横田 美尋 記録 10M33



9月の予定

1日 (火) 全校集会・防災訓練	24日 (木) 道德授業地区公開講座 学校公開
4日 (金) 前期期末考査 8日 (火) まで	25日 (金) 生徒会役員選挙
9日 (水) 区中学校研究会	26日 (土) 学校公開終 学校説明会
10日 (木) 2学年移動教室 12日 (土) まで	28日 (月) 振替休日
14日 (月) 2学年振替休日	30日 (水) セレクト給食